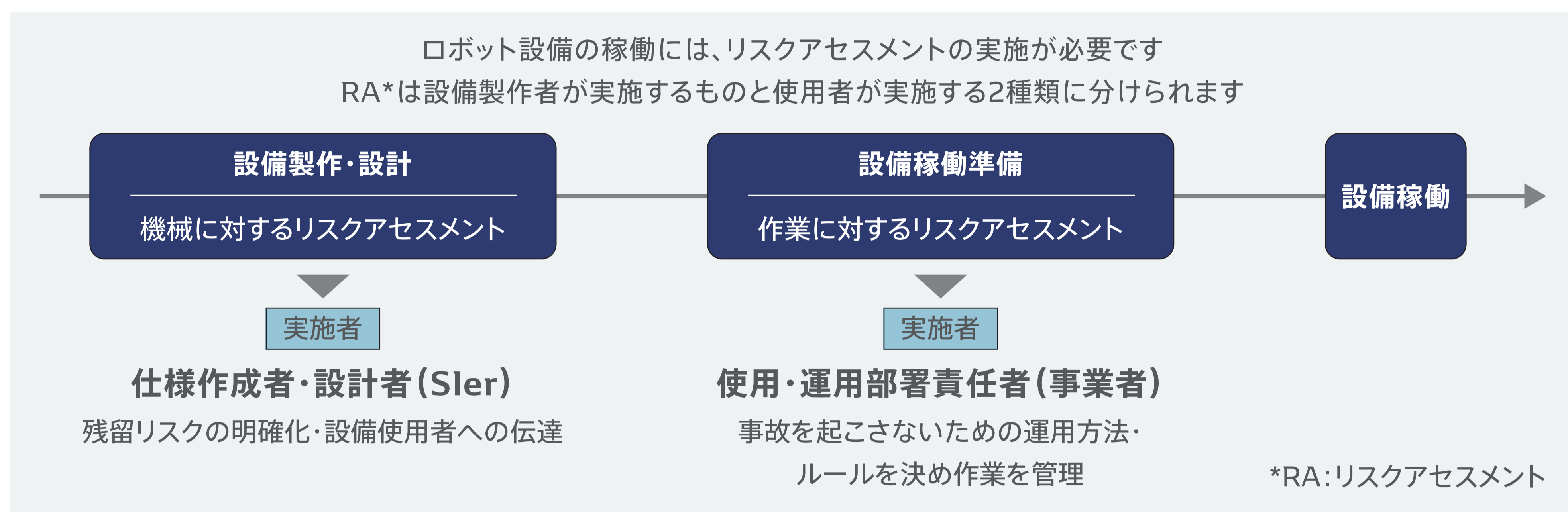


リスクアセスメント導入支援サービス

- デンソーウェーブが設計・製作したロボットシステム運用時におけるリスク分析から評価、低減方策のご提案などリスクアセスメントの一連のプロセスをご支援します

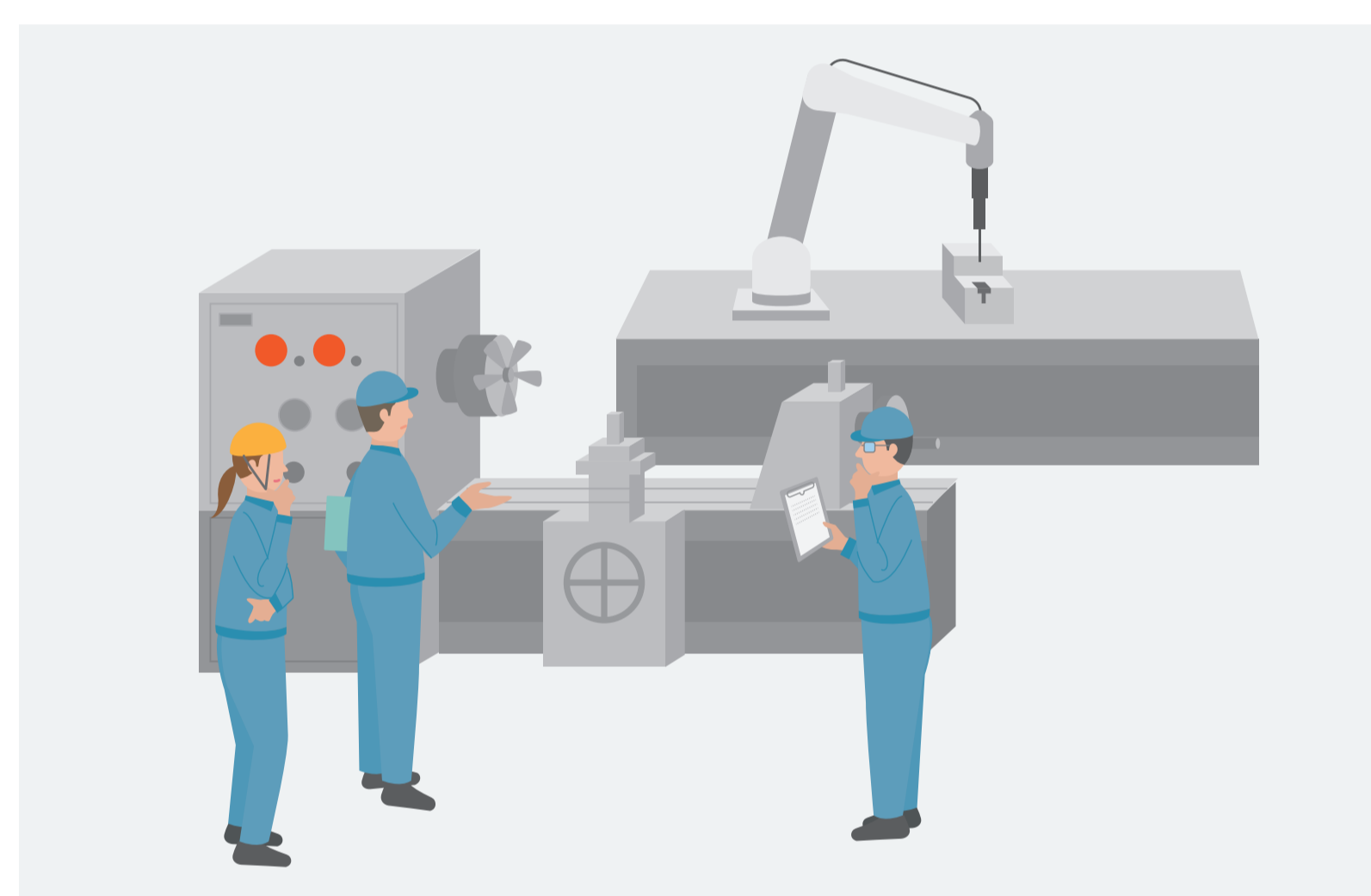
リスクアセスメントとは？

事業者が自主的に、設備や作業等で発生する危険性又は有害性等の調査を行い、必要に応じて対策の検討・実務を行うこと
 ※労働安全衛生法第28条の2第1項で努力義務として規定

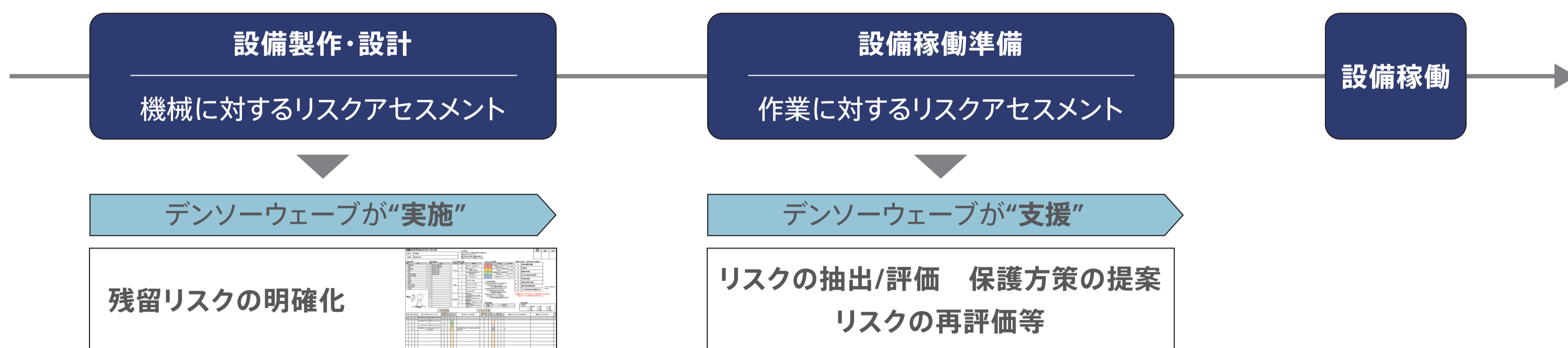


作業RAの実施責任があるお客様 (事業者) の声

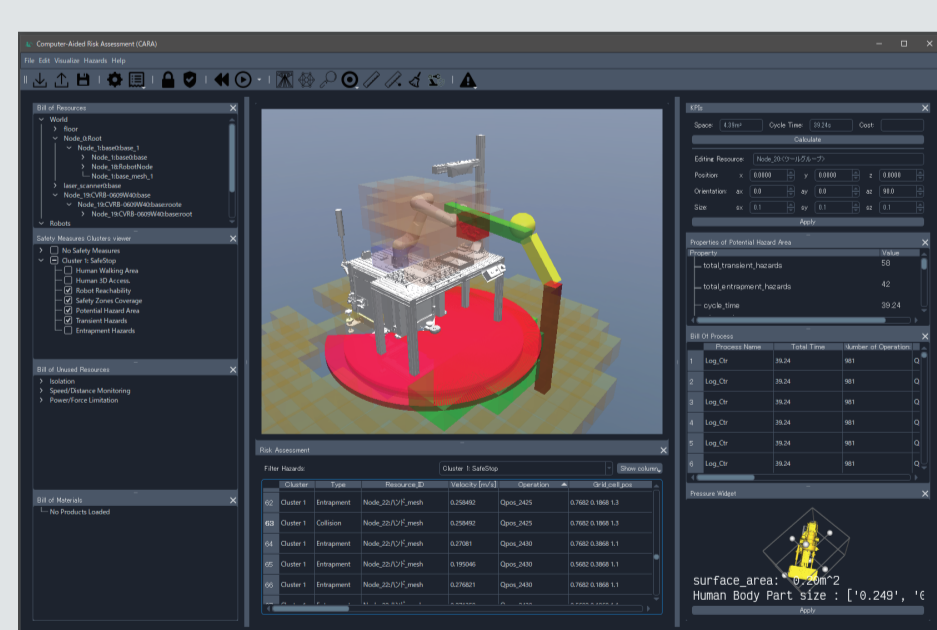
- リスクアセスメントを行いたいが、何から対応してよいのか分からない
- どのようなリスクがあるか分からない
- 人員など社内体制が整っておらず、なかなか手を付けられていない
- 相談先が分からない



リスクアセスメントとは？



専用ソフトを活用したリスクの数値化・視覚化が可能



ロボットとの衝突・挟み込みに起因するリスクは、シミュレーションソフト「CARA」*を活用
 オフラインプログラミングソフト「WINCAPS III」との連携により、作成したロボット動作と
 周辺設備モデルから衝突・挟み込みが生じる危険領域の可視化が可能

衝突時の力・圧力の計算を行い、リスクの見積・評価が可能

レーザースキャナ、ライトカーテン等の安全機器とロボットの情報から安全な距離を計算、
 安全機器の最適な配置検討が可能

*Fraunhofer IPA (独)・株式会社デンソーより提供

サービス利用のメリット

- メリット 1** 設備設計者をご対応・直接相談可能
 設備製作者であるデンソーウェーブが、ロボットの安全機能を有効活用しながら、作業RAをご支援
 対応窓口を一本化することで設備製作から設備稼働準備までを一貫してサポート
- メリット 2** リスクアセスメントをご支援
 作業RAシートをご提出
 作業RAとして、作業内容の整理・危険源の調査からリスク分析や評価、リスクの低減方策のご提案、
 リスクの再評価を実施。リスクアセスメントの結果は作業RAシートに記載してご提出
- メリット 3** 設備設計者と取り組むことで
 社内のRAの理解が深まる
 作業RAの結果を実設備と共にご説明。企業のリスクアセスメント担当者は、リスクアセスメントに対する
 知見の蓄積ができる上、作業RAの結果を踏まえ、残留リスクを考慮した作業要領書の作成が可能